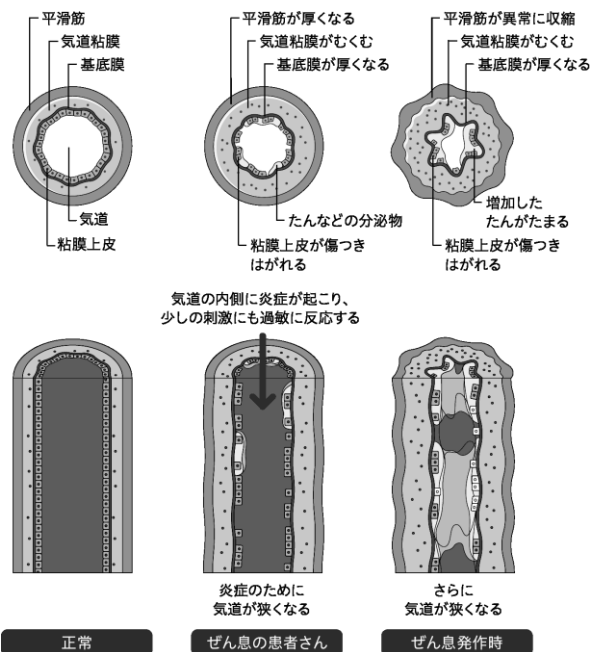




アレルギー性喘息について

喘息は空気の通り道である気道がつねに炎症を起こしている慢性炎症性疾患です。小児から高齢者まで全ての年齢層で発症します。気道の炎症がアレルギー反応によっておこるものをアレルギー性喘息、それとは違う仕組みで起



■アレルギー反応

アレルギー反応とは花粉やダニ、ハウスダストなど私たちにあまり害を与えない物質が侵入してきたにもかかわらず、それらを有害な物質と認識し本来私たちの体を守るために備わっている免疫の仕組みが過剰に反応してしまう現象です。アレルギー性喘息はアレルギーを吸い込んで数

分から30分前後で現れる『即時型反応』と即時型が一旦治まった後3〜6時間後に現れる『遅発型反応』の2つの反応がくり返し起こることによって気道に炎症を起こし症状を悪化させていきます。

気道の炎症が長引くと気道の平滑筋や粘膜が敏感になり少しの刺激でも気道が収縮しやすい状態になります。

発作の回数が増え、間隔が短くなると炎症によって傷つけられた気道はどんどん狭くなり発作が起りやすくなります。

■悪化させる原因

喘息を悪化させる原因にはアレルギー反応を起こしやすい体質や気道の感受性といった喘息の人がもともと持っている要

因と、吸入アレルギーやタバコの煙、排気ガスなどの空気の汚染物質など様々です。

その他にも過労や不眠をはじめとするストレス、食品や食品添加物、アルコール、肥満、月経や妊娠などさまざまな環境要因が複数にからみあって引き起こされます。

■治療の目的

治療の目的は普通の人と変わらない生活を送れるようになることです。

家事をすると苦しくなる、階段を昇ると苦しくなってしまう、発作のために朝までぐっすり眠れない、外出や旅行を控えている、家のあちこちに吸入薬を置いていたなど日常生活

活が制限されないように自分がどのような時に発作をおこしやすいか知っておき、同じような状況を避けましよう。

治療をしていても症状がコントロールできていない人、入院したことがあつた人、救急外来に何度も通つていて人、経口ステロイドを服用している人などは治療が十分でない可能性がみつきます。

思い当たる方は一度治療を見直し主治医に相談してみてください。

